

施策番号	1704		
施策名	健康危機に対する安全・安心の確保		
概要	新型インフルエンザをはじめとする感染症や食中毒等の健康危機事案に対し、市内の医療機関等との連携により、迅速かつ的確な予防と蔓延の防止対策を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・医療衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する 主な分野別計画等			

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 腸管出血性大腸菌による感染症の発生病数(件)	c	a	25	30	25	80.0%	c	1.00
2 定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比(%)	c	e	87.8	70.4	69.8	99.1%	b	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
			<b>客観指標総合評価</b>				<b>b</b>	

#### 2 市民生活実感評価 \*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	b	b	53 11.5%	191 41.6%	176 38.3%	25 5.4%	14 3.1%	459	b
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
			<b>市民生活実感調査総合評価</b>						<b>b</b>

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

<b>B</b>	<b>施策の目的がかなり達成されている</b>						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
<b>(重み付けの理由)</b> 健康危機に対する安全・安心の確保は、市民生活に密接に関わる施策であることから、市民生活実感調査を重視する。						28 年度	B
<b>(原因分析) 客観指標総合評価</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
<b>(原因分析) 市民生活実感調査総合評価</b> <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						27 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	性感染症対策	16,232	46,325	良い	保健福祉局
2	O157等腸管出血性大腸菌対策	22,596	61,890	普通	保健福祉局
3	エイズ対策	36,371	75,296	普通	保健福祉局
4	肝炎ウイルス検査	14,056	55,440	良い	保健福祉局
5	定期外結核	23,922	75,131	良い	保健福祉局
6	飲料水衛生管理指導	99,935	67,273	良い	保健福祉局
7	建築物衛生(ビル衛生管理)	98,298	66,956	良い	保健福祉局
8	薬物乱用防止啓発事業	4,841	5,548	良い	保健福祉局
9	風しん予防接種(任意接種)	19,256	15,560	かなり良い	保健福祉局
10	感染症予防対策	30,600	74,843	良い	保健福祉局
11	結核・感染症発生動向調査	39,208	68,061	良い	保健福祉局
12	定期結核	64,094	124,673	良い	保健福祉局
13	結核対策特別促進事業	19,268	70,532	良い	保健福祉局
14	風しん抗体検査	15,214	14,837	普通	保健福祉局
15					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・腸管出血性大腸菌などの感染症や食中毒等が実際に生じた際には、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防とまん延防止の取組を進める。  
 ・インフルエンザ対策として、予防接種の勧奨、手洗い及びうがいの励行等の予防方法についてネット配信、啓発チラシを通して広く市民や関係団体へ周知し、インフルエンザの感染拡大防止を図る。

施策名	1704	健康危機に対する安全・安心の確保
-----	------	------------------

指標名	腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数（件）
-----	------------------------

担当課	健康安全課	連絡先	222-4244
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

○111, ○157等の腸管出血性大腸菌による感染症発生件数

### 2 指標の意味

感染症の発生状況を示す指標

### 3 算出方法・出典等

算出方法：各年度の発生件数の合計  
出典：事業担当課調べ

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	25	30	5件増	25	過去5年間の最低値（平成27年度）	80.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	(参考：過去5年の発生件数) 平成23年度：30件 平成24年度：27件 平成25年度：47件 平成26年度：35件 平成27年度：25件
----	--

### 5 評価基準

最新の数値が過去5年間の  
a：最低値未満  
b：最低値以上～下中間値（最低値と平均値の間）未満  
c：下中間値以上～平均値未満  
d：平均値以上～上中間値（平均値と最高値の間）未満  
e：上中間以上

### 6 基準説明

過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値未満をa、平均値未満をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。  
最低値：25件（平成27年度）  
平均値：32.8件  
最高値：47件（平成25年度）

### 7 評価結果

27	28	29
c	a	c

指標名	定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比（%）
-----	-----------------------------

担当課	健康安全課	連絡先	222-4244
-----	-------	-----	----------

### 1 指標の説明

インフルエンザの流行発生状況の指標となる定点当たり報告数の全国比

### 2 指標の意味

感染症の発生状況

### 3 算出方法・出典等

算出方法：本市の定点医療機関当たり報告数（年間）/全国の定点医療機関当たり報告数（年間）

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	87.8	70.4	17.4ポイント減	69.8	過去5年間の最低値（平成26年度）	99.1%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	(平成28年度) 本市の定点医療機関当たり報告数：216.1件 全国の定点医療機関当たり報告数：307.1件 (参考：過去5年の比率) 平成23年度：77.7% 平成24年度：75.1% 平成25年度：85.4% 平成26年度：69.8% 平成27年度：87.8%
----	--

### 5 評価基準

最新の数値が過去5年間の  
a：最低値未満  
b：最低値以上～下中間値（最低値と平均値の間）未満  
c：下中間値以上～平均値未満  
d：平均値以上～上中間値（平均値と最高値の間）未満  
e：上中間以上

### 6 基準説明

過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値未満をa、平均値未満をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。  
最低値：69.8%（平成26年度）  
平均値：79.2%  
最高値：87.8%（平成27年度）

### 7 評価結果

27	28	29
c	e	b